令和３年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

くらし部会（精神障がいチーム）活動報告

1. 本年度のねらい

・安心して生活が送れる地域を目指す

1. 事例検討や昨年度の事例経過報告より地域の課題や現状について探っていく。
2. 研修会を通して支援力の向上を図る。
3. 事業所間や圏域の状況把握、制度の動向についての情報交換、共有をしていく。

［２］部会の開催及び取組内容

　　●開催日時

　　◎奇数月第３木曜日　１３：３０～１５：００

　　・第１回　　５月２０日（木）　　チーム長・副選任、活動報告・計画、昨年度事例の振り返り

９名

・第２回　　７月１５日（木）　　事業所紹介（機能、取り組んでいること、力を入れているこ

と、コロナ禍における取組み、対策。コロナの影響で籠りがちとなった利用者への支援等の情報交換）　　　　　　１３名

　　・第３回　　９月１６日（木）　　事例検討（富草寮）　　　　　　　　　　　　　　　　９名

　　・第４回　　１１月１８日（木）　介護保険制度等研修会（長寿支援課）　　　　　　　３６名

　　・第５回　　１月２０日（木）　　事例検討（かわじ地域包括支援センター）・中止

　　・第６回　　３月１７日（木）　　令和３年度のまとめ　　　　　　　　　　　　　　　　５名

［３］成果

　　・部会に参加することで支援者側の繋がりができ、課題のヒントを知ることができた。

　　・精神障がいに係る事業所及び各団体が集まる有意義な場。日々の連携等にも繋がっていく。

　　・他事業所で取り組んでいること（コロナ時の対応を含め）の話が聞けて参考になった。

　　・介護保険制度等の研修会が開催でき良かった。介護保険への移行について知ることができ

た。

［４］次年度へ向けて（課題）

　　・事例検討は今後も継続。内容は地域の課題や地域移行に繋がるようなことも意識していく。

また、成功事例や実践報告から地域の資源を知り共有できたら良い。

　　・研修会においては、コロナの状況によっては会場が使えないこともあるためオンライン開催

も視野に入れる。また、人数の関係もあり規模的に参集者も検討。部会全体で企画、計画、

講師の段取り、準備等役割分担をし開催できると良い。

　　・本部会を精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの協議の場としていくため、保健、医療、

福祉関係者、県・市町村担当者が幅広く参加することが重要である。

　　・成年後見制度、虐待事案対応など事例を踏まえ、検討会・研修会の開催。

　　・精神障がいについての知識を学んでいきたい。